

# 平成30年度 自己評価書

学校名 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校

## 1 学校教育目標

造形体験を重ね、創造力を育成する。

- 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める。
- 個性を生かし、豊かな自己実現を目指す。
- 自然に親しみ、情操を豊かにする。創造的な能力と専門的な知識をもち、社会に貢献できる人間を育てる

## 2 本年度の重点目標

- (1) 基本的生活習慣の確立と学習習慣を定着させる。
- (2) 生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおり、キャリア教育を推進し社会性を育成する。
- (4) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践を推進する。他の生命を尊重し、相手を思いやる「豊かな心」を育てる。

## 3 自己評価結果

分野	評価項目	達成状況	職員アンケート評価	取組の適切さ	職員アンケート評価	改善の方策
教育目標	1 学校教育目標等について教職員の共通理解が図られている。	B	3.87	B	3.87	・学校評価の活用推進 ・職員評価制度の活用推進 ・職員研修の活用推進
	2 学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	A	4.00	A	4.07	
学習指導	3 生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている。	A	4.20	A	4.13	・新学習指導要領に向けた教育課程の改善 ・授業改善の推進
	4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	B	3.53	B	3.67	・学習習慣の確立 ・学習意欲の醸成
	5 学習意欲を高め主体的に学ぶための教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	B	3.73	A	4.07	・学力ケアの充実
生徒指導	6 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重の精神を育むように努めている。	A	4.13	A	4.27	・基本的生活習慣の確立
	7 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	A	4.40	A	4.40	・安全教育の推進 ・生徒理解の深化
	8 一人ひとりの生徒を大切に、生徒理解に基づく指導の充実を図っている。	A	4.07	A	4.00	・教育相談の充実
いじめへの対策	9 教職員、寮、家庭との連携を図り、未然防止・早期発見に向けた観察やアンケート、教育相談を推進している。	A	4.33	A	4.13	・生徒観察、理解の推進・寮との連携 ・いじめ対応の組織的取組
	10 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	A	4.47	A	4.13	・行事内容の改善充実 ・委員会活動の活性化
学校行事課外活動	11 部活動の活発な活動を推進している。	A	4.67	A	4.40	・寮生会活動の活性化 ・リーダー研修の充実
	12 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てる進路指導に努めている。	B	3.53	C	3.47	・計画的進路指導の改善推進 ・進路情報の収集
健康安全指導	13 地域連携を推進し、体験的、実践的な学習を通して望ましい勤労観、職業観を育成している。	B	3.60	B	3.67	・情報提供の工夫 ・インターンシップの充実
	14 生徒が主体的に進路選択ができるように情報収集・発信に努め、保護者・生徒・教師の相互理解を図っている。	C	3.13	C	3.07	・異校種、産学連携の推進 ・進路課委託の推進
	15 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	A	4.47	A	4.33	・防災訓練の工夫改善
研修	16 生徒の生命安全を第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	A	4.53	A	4.40	・安全教育の推進 ・教育相談の充実
	17 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目指している。	A	4.40	A	4.47	・関係機関との連携
組織運営・保護者、地域住民等との連携	18 校内研修を推進し、生徒の実態を踏まえた指導に係る研修・研究を行っている。	A	4.07	B	3.80	・実践的な校内研修の充実 ・研修成果の還元
	19 共通意識を図り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	B	3.53	C	3.40	・校内組織間の情報の共有化 ・互いに話しやすい職場環境づくり
	20 PTA活動・同窓会活動の促進に努めている。	B	3.80	B	3.80	・PTA活動の充実
	21 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	A	4.20	A	4.20	・HP等情報発信の工夫改善 ・地域・保護者との関係の充実
	22 ボランティア活動や各種行事へ積極的に参加し、地域や家庭の期待に応えている。	A	4.07	A	4.27	

※ 評価基準

A: 充分である=4以上 B: 概ね充分である=3.5以上 C: 不十分である=3.5未満 D: 改善を要する=3未満

## 4 次年度以降の目標設定に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- (1) 今年度の、各重点目標の更なる推進を目指す。
- (2) スピーディーで確実な実践に努める。
- (3) 本校の取り組みを、保護者・地域の方々に理解いただく工夫に努める。
- (4) 保護者・地域の協力を得て、地域や保護者から信頼され子供を学ばせたい学校を目指す。